

水に遊び・学ぶ・楽しむ

田んぼの学校 in 白川中流域

「令和元年度田んぼの学校 in 白川中流域」が7月27日に開催されました(主催:「おおきく土地改良区」)。これは水田や水路を遊びと学びの場として活用しつつ、農業の大切さ、地域資源の持つ多面的な役割(地下水涵養機能など)について理解を深めてもらうことを目的として毎年実施しています。今年は大津町内外合わせて150人の小学生と保護者が参加し、魚のつかみどりや綱引き、そして鼻ぐり井手の見学が行われました。



普段できない遊びに笑顔がはじける子どもたち

子どもたちの教育を熱く語る

保育士と教師の研修会

7月17日、オークスプラザで町内の保育士と小中学校教諭を対象に研修会を開催しました。熊本大学准教授・前田康裕さんの講演を聞いた参加者は、子どもが未来を生きるためにどんな力が必要かを話し合いました。

この研修会は、町が熊本県「幼児教育推進体制の充実・活用強化事業に係る市町村研究地域」の指定(2年)を受け実施したもので、幼稚園・保育園、小学校、中学校が連携し、幼児教育の質の向上を図る体制づくりの一つです。



真剣な表情で意見を交わす参加者と前田准教授

スポーツで国境を越える

ドイツ・ニュルンベルク市青少年国際交流

第8回ドイツ・ニュルンベルク市青少年国際交流が8月1日から7日までの間で行われました。この交流はスポーツを通じた国際交流が目的で、卓球・剣道・弓道などが行われました。また、熊本城見学や茶道体験、ホームステイ先での交流などを通して日本の文化にも触れました。今回の交流を通じて、青少年団とホストファミリー、またニュルンベルク市と大津町の絆が深まりました。



2日には町長とも交流を深めました

町にとって記念すべき節目

大津町人口3万5,000人突破!

町の人口が7月31日に3万5,000人を突破しました。他の地域から転入し、記念すべき節目の住民となった松田正子さんは「大津町は子育ての町として有名。人口が伸びているのがその証拠かもしれません。とても便利でいいところだと思っています。庁舎が地震の影響で仮設庁舎になっているとは知らなかったのが驚きました。新しい庁舎が完成するのを楽しみにしています」と話してくれました。

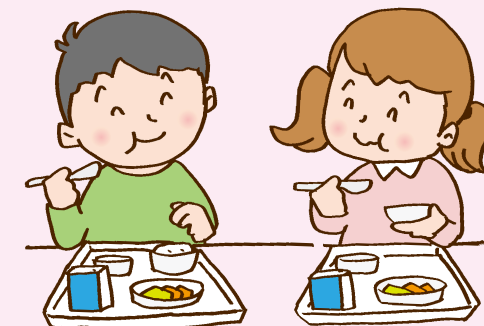


くすだまを割り家入町長と握手する松田さん

保育料を無償化します②

●問い合わせ 役場子育て支援課 子育て支援係 ☎096(293)5981

保育料については10月から、3～5歳児の子どもは無償化されるため、市町村に支払う必要がなくなります。ただし、保育所の給食の材料にかかる費用(給食費)については、自宅で子育てを行う場合も同様にかかる費用です。このため、保育所などを利用する保護者も、自ら自宅で子育てを行う保護者と同様に、その費用を負担することが原則となりますので、無償化後も引き続き、保護者の皆さんの負担となります。



3～5歳児の保護者の皆さんへ

- 現在、3～5歳児の給食費分は、
 - ・主食(お米など)分については直接
 - ・副食(おかず)分については(保育料の一部として)市町村を通じて、保育所に支払い、または現物を持参していただいています。
- 保育料は無償化されますが、給食費については引き続き保護者の皆さんの負担が原則です。無償化に伴い、今後は、主食分と副食分の給食費をまとめて保育所に支払うこととなりますので、ご理解・ご協力をお願いします。
- 副食費については、年収360万円未満相当の世帯および第3子以降は免除となります。対象者には9月中に通知します。

